

ふう けい き こう
風景紀行
御岳東麓
 木曾森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

「御岳東麓」

◇開田高原

島崎藤村の小説「夜明け前」の書き出しに、木曾谷のほとんどが切り立った峻険の地であると紹介しています。なるほど、国道十九号やJRで木曾川沿いを通過するとその感ひとしおです。しかし、福島から国道三六一号の旧道をたどり旧木曾福島町と旧開田村の境に位置する地藏峠を越えると、眼前に広がるなだらかな御岳の裾野に、ここが木曾谷かと疑うような景観が広がります。

また、霊峰御嶽山の懐に入り込むと、火山特有の地層と豊富な雨量に恵まれ、各所に滝があり瀑布巡りが楽しめます。

◇スキー場

御岳の長野県側には、開田・三岳・王滝に三つのスキー場がありウインタースポーツが楽しめます。



秋の開田高原から望む御岳

夏場には御岳登山口となっていて、主に中京圏から多くの人が訪れています。ゴンドラリフトからは切立った木曾山脈の手に御岳の広大な裾野が広がり木曾谷の雄大な眺望が楽しめます。

◇開田蕎麦

農業の面では、高原の冷涼な気候を利用して、そばや高原野菜などの栽培が盛んで、長野県では戸隠そばと並び称され霧科そばとして有名で、景色もさながら味覚の面でも満足感が得られます。

十一月一日には木曾福島町・日義村と御岳を有する開田村・三岳村の四町村が



木曾馬

合併して人口一万四千人の木曾町が発足して、観光やレジャー、農業面でさらなる発展が期待されています。

◇アクセス方法

「そばを食べたり乗馬を楽しみたい場合」

JR木曾福島駅から開田高原乗馬センターまでバスで約二十五分

「ウインタースポーツや瀑布巡りを楽しみたい場合」

国道十九号線「元橋」信号を三岳経由で高山市方面へ車で約三十分



スキー場から望む御岳